平成29年 白井ひでふみ 主な活動

- PICK UP -

●予算要望書を提出

平成30年度中野区の予算に対して公明党として予算要望書を提出しました。
これは、区内の各種団体の皆様との懇談、勉強会をもとに作成したものです。

●子ども文教委員会視察

こども総合相談センター（金沢市児童相談所）、とやまこどもプラザ、東京都児童相談センター、渋谷区こども・親子支援センター「かぞくのあとりえ」を訪問。
中野区は、東京都から児童相談所の移管を目指しています。
課題も多く、さらなる研鑽が必要です。

●カラオケを活用した介護予防事業

音響機器（カラオケシステム）を活用して、歌や体操、脳トレなど多彩なメニューによる介護予防の取り組みが、区内全域で始まりました。

●JAL見学会

党員、地域の皆様とともに、JAL（日本航空）工場見学を行いました。

●入学式にランドセルを

就学援助のうち新入学学用品費が、入学前に支給されることになりました。
対象者の方には、区から申請用紙が届きます。

中野区議会議員
白井ひでふみ
中野区中野4-8-1 中野区役所3F公明党控室
区政に関するご意見・ご要望をお聞かせください。
Tel 03-3228-8875　Fax 03-3389-8680
http://www.shirai.ne.jp

NEW KOMEITO 公明党　確かな政策！ 抜群の実現力！

白井ひでふみ NEWS

発行者：中野区議会公明党議員団　中野区中野 4-8-1 中野区役所 3F 公明控室

新春ご挨拶

旧年中は大変にお世話になり、誠にありがとうございました。
東京都議会議員選挙、衆議院議員総選挙におきましては、公明党に対し皆様の真心からのお力添えを賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

私は、今期の後期人事におきまして、子ども文教委員会委員長の任を拝命致しました。
未来ある子ども達のために、この任を全力で果たして参る決意です。

この度は、新しい「白井ひでふみNEWS」ができましたので、お届けさせていただきます。
内容は、平成29年度の第2回定例会本会議質問、第3回定例会決算総括質疑の概要等を掲載させて頂きましたので、お忙しいとは存じますが、ご高覧を賜れば幸いです。

結びに、本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、お願いを申し上げ、新春のご挨拶とさせて頂きます。

白井ひでふみ

profile

公明党議員団　東中野支部長

1969年7月11日生まれ
大阪府出身
平成19年初当選
平成23年当選（2期目）
平成27年当選（3期目）
学歴：創価大学法学部卒
職歴：国会議員公設秘書を10年、中野区議会副議長
現職：子ども文教委員会委員長
　　中野駅周辺・西武新宿線沿線まちづくり調査特別委員会
資格：政策担当秘書、防災士
家族：妻と2人
モットー：現場第一
趣味・特技：読書、サッカー

平成29年 白井ひでふみ 議会発言

平成２９年第２回定例会では、６月２日に行われた一般質問に登壇し、１. 災害対策について、２. 健康施策について、３. 通学路等の安全対策について、４. 東中野駅東口について等、質問を行いました。
平成２９年第３回定例会では、９月１９日に行われた総括質問に登壇し、１. 平成２８年度決算について、２. 防災対策について、３. 防犯カメラの設置について、４. 住宅施策について、５. 公共基準点の保険について等、質問を行いました。
これからも区民の皆様の生活を守り、安心して暮らせる中野区へ向けて、一つ一つの課題に全力で取り組んで参ります。
以下に質問の詳細を抜粋して掲載致します。

平成29年第2回定例会 一般質問

6月2日

区内ではない遠隔地での避難所の開設を

Q 大規模災害時、災害救助法が適用されると、区外にも避難所の指定ができる。
また、同法の弾力的運用がされると、区外への避難者の費用が国の負担で受けられる。高齢者や障がい者、子育て家庭など要配慮者の支援とも成る区内ではない遠隔地での避難所の開設をするべきでは。

A 災害時の被害の程度により、避難所生活の長期化や近接地での応急仮設住宅の確保の困難さが想定される。高齢者などの災害時要配慮者も含め、避難生活者にとって遠隔地の避難施設の必要性は高いと考える。

Q 併せて、まずは、中野区が里まち連携協定を結んでいるみなかみ町、甲洲市、館山市、上陸太田市、喜多方市や、他の自治体とも区民の被災者の受け入れ先の選択肢を増やす取り組みを進めるべきではないか。

A なかの里・まち連携協定の自治体とは、今後、避難施設の確保の観点からも、災害時相互応援協定の締結を進めたい。

災害時のデジタルサイネージの運用方法を問う

Q 防災行政無線のデジタル化に伴い、音声の他、文字や映像による情報伝達が可能となる。デジタルサイネージは区民への情報伝達手段として重要である。平時の賑わいのため今年度中に計画、設置されるデジタルサイネージは、災害時の防災行政無線のシステムと連動するのか。また、設置場所や運勢方法は。

A 現在、提供する情報の在り方や、設置場所、運用の仕組みなどを検討中である。検討に当たっては、災害情報の配信などの視点も盛り込んでいく考えである。

全学童クラブに入退室メール配信サービスの導入を

Q 区内学童クラブ 25 カ所のうち、キッズ・プラザとともに運営される８つの学童クラブは、児童の入退室時間をメール配信するサービスを、児童保護者が利用できるようになると聞く。
利用する学童クラブで差の生じることのないよう、全ての学童クラブの利用児童、保護者への安心安全のため、他の 17 カ所においても導入してはどうか。

A 本年度キッズ・プラザに導入する入退室管理システムは、メールサービスも含め、その運用状況を検証し、児童館内の学童クラブへの拡大を検討していきたい。

平成29年第3回定例会 総括質問

9月19日

公会計情報の活用

Q フルコストを収益性や利用率の経年変化の情報とともに分析し、公表すべきでは。

A わかりやすく公表したい。

Q 公会計情報を、行政評価制度や事業見直し、事業計画や予算編成過程等、区政運営のマネジメントツールとして活用すべきではないか。

A 活用が大切と考えている。

Q 施設マネジメントやまちづくりの計画においても、積極的に活用してはどうか。

A 活用を検討したい。

戸別受信機の整備

Q 防災行政無線の戸別受信機の整備計画について、デジタル化に伴う課題は。

A 外部アンテナが必要となり持ち出せなくなったこと、費用が高額なことなどである。

Q 新たな受信機整備に当たり、課題解消のため他区では様々なシステムが導入されているが、区の検討状況は。

A 代替システムを研究し、来年度の導入を検討したい。

Q 高齢者等、支援を必要とする区民への対象拡大を検討すべきではないか。

A 有用なシステムであり検討したい。

区有施設等の防犯カメラ

Q 区有施設では多くのカメラが内向きに設置されている聞く。
犯罪抑止力向上のため、警察と連携し、出入り口など建物の外部が映るように調整してはどうか。

A 設置状況を調査し、対応を検討する。

住宅施策

Q 空き家等対策として、戸籍の附票、住民票の除票の活用が有効ではないか。

A 有効な手段と考える。

Q 23 区中 10 区で、5 年の保存期間を過ぎた附票を交付している。区でも検討しては。

A 国や他自治体の動向を注視したい。

Q 分譲マンションの適正な管理についての課題認識は。

A 老朽化や所有者の高齢化などを課題と認識している。

Q 分譲マンションの実態把握のため調査を行うべきでは。

A 今後検討を進めたい。